

令和6年度第1回京丹波町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年2月20日（木） 午後1時30分～午後3時25分
- 2 開催場所 京丹波町役場 防災会議室
- 3 出席者 (1) 構成員 7名
畠中源一町長、松本和久教育長、片山幸男教育長職務代理者
津田勝二委員、金子和子委員、山根里香委員、亀田奈津子委員
(2) 事務局 7名
・総務課
田中課長、徳島課長補佐、上田主事
・教育委員会
岡本教育次長、宇野学校教育課長、西山社会教育課長
畑山教育振興室長
(3) 説明者 2名
梅原和知小学校長、平井和知中学校長
- 4 傍聴者 5名
- 5 会議の概要
(1) 開会あいさつ
畠中町長が、会議開会にあたってのあいさつを行った。

(2) 協議事項
ア 令和6年度教育委員会事業報告について
令和6年度における教育委員会の取り組みについて報告した。
学校教育の取組報告について（宇野学校教育課長、畑山教育振興室長説明）
社会教育の取組報告について（西山社会教育課長説明）

イ 和知地域における学校のあり方について
梅原和知小学校長から、学校運営協議会における和知小学校の今後の検討等の取り組み状況について、平井和知中学校長から、学校運営協議会における和知中学校の今後の検討等の取り組み状況について、及びクラブ活動等においての町内他中学校との連携について、それぞれ報告された。

ウ 質疑、意見交換

構成員により、和知地域における小・中学校の在り方について、質疑、意見交換を行った。概要は以下のとおり。

【委員】小・中連携教育がスタートとし、中学校の先生方が小学校の5、6年生の音楽と美術の授業を専門的にご指導いただいたおかげで、子どもたちが十分に力を発揮できてきたと思う。探究的な学びを盛んに取り入れられていることで、子どもたちの表現が豊かになってきていると感じる。先日和知小学校で和知太鼓の指導をし、そのときに子どもたちに1年間の感想を聞いてきたが、恥ずかしがらず自分の言葉で自分の思いを伝えていた。最近の取り組みの中で、中学生が小学生に関わっていることが大きく影響していると思う。小学生、中学生がピンポイントで一緒に学ぶ機会は、お互いに良い効果を生み出していくと思う。学校の在り方については、保護者への丁寧な説明と意見集約を、また、地域の人の意見も集約願いたい。

【委員】和知地域は昔から学校教育に協力的な地域であった。学校、地域それぞれ色が違い個性があるので、和知独特のカラーを残していってほしい。また、町内の学校を1つにした場合は、距離が遠くなり通学が大変になる子どももいると思われることから、和知地区内での小中一貫校が良いと思う。また、子どものクラブ活動の在り方については、意見を丁寧にひらってほしい。

【委員】小中一貫校への移行について、小学校の保護者からは肯定的な意見が多いが、中学校では半々の意見であるのは、小学校や中学校の保護者の方々が、それぞれ見ている部分が違うのではないかと感じた。保護者の方や地域の方、子どもたちの意見を丁寧に聞いて検討する必要があると思った。小中一貫校になったとして、この先も持続可能なのか。出生率はこの先どうなっていくのかが知りたい。

【教育長】手元にある資料は、学齢簿を作るための基礎データであるので、若干ずれはあるが、小中合計で令和6年度は104人、令和7年度は101人、令和8年度は95人、令和9年度は96人、令和10年度は98人、令和11年度は91人、令和12年度は94人、令和13年度は84人であり、緩やかに少子化人口減少が進んでいる。この減少幅であれば、現時点では小中一貫校であっても一定の持続可能性があるのでないかと考える。

【委員】実際に通うことになる子どもたちの意見も丁寧に聞いてほしい。和知地域だけでなく竹野小学校、下山小学校の課題はどうなのか。

【教育長】出生率、出生数が全町的にも減ってきているので、社会の変化に応じた学校教育の在り方は当然検討していくべきものである。

従来は、児童生徒数が減れば自動的に統合するという考え方であったが、今は少し流れが変わり、小規模でも少人数のメリットを活かした教育の在り方や、場合によっては、小さくても残していくという考え方を、国も言い出している。

保護者の方や地域の方に、自分たちの学校の在り方を考えていただき、その声を教育委員会としてしっかり聞きたい。竹野小学校や下山小学校についても、今後よく議論をお願いをしていくことになる。

【委員】教育委員として学校を見学させていただいたときに、和知中学校ではチームとしてのクラブ活動がしにくく、個人種目に取り組むなどで工夫されていると感じた。子ども自身は現在サッカーをしているが、中学校に上がるとサッカー部がないので、今頑張っているスポーツを、中学校になると辞めなくてはならないと子どもが口に出している。自分が頑張ってきたスポーツを続ける手段がないことが課題。何か解決できる方法はないのか。子どもたちの夢を繋げられるように、そういったところの意見を聞いて進めていただければ助かる。

【町長】今日この場で初めて出た和知地域における小・中学校の在り方にかかる問題をしっかり受け止め、令和7年度で検討委員会を設置すべきであると思う。正式に議論をして、都度、報道できるものはしていき、議論を進めているということを町民の皆様に広く知っていただいて、町民の皆様で共有していくことが大事である。

(4) 閉会あいさつ

【教育長】和知の小中学校の在り方についての検討委員会を、令和7年度のできるだけ早い時期に設置をし、多くの方のご意見を聞いて検討を進めさせていただきたい。教育委員の皆様にもその方向でご理解いただきたい。社会の変化に対応した、京丹波町の学校教育の新たな方向について、令和7年度から検討を進めていく。

[閉会：午後3時25分]